

## 9. 用語選定シート インストラクション

- ① テーマを記入します。テーマの文言は、後で修正することができます。
- ② 「5. 再把握シート」「7. パターナー一覧シート」「8. 交差シート」（作成していない場合は、「1. 実例シート」）をながめながら、フェルトセンス（意味感覚）\*を感じ直します。ここからは、フェルトセンス（意味感覚）を、論理的な文章にしていきます。まず、これまで使った言葉の中から、重要語（句）だと感じられる語句や、繰り返し使った語句を拾い上げ、集めます。意味の近い語（句）は近い位置に、遠い語（句）は遠い位置に置きます。図を描いてもよいでしょう。完全にまとめあげてしまわず、浮かんでくることを置いていく感覚でおこないます。
- ③ ②の記入欄に、なるべく大きな三角形を描くつもりで、重要語（句）を、3つ選び、用語欄に記入します。意味が類似していない（離れている）語句を選ぶよう注意します。複数語（句）をまとめる新しい語（句）を考えてもよいでしょう。ここで選ぶ用語は、名詞または名詞句にします。それ以外のものを選ぶ場合は、「」で囲んで名詞句として扱います。

\*「ポイントコース3」「スピードコース3」の方へ

テーマとしている経験について感じる意味感覚（意味があるという感覚）を、「フェルトセンス」と呼びます。このサイトでは、「フェルトセンス」は、「テーマとしている経験のフェルトセンス」を指します。